

1 研究主題

(令和4～5年) 2カ年継続研究 (2年次)

「未来を切り拓き 豊かな社会を創り出す日本人を育成する渡島小中学校教育」

～ 新たな時代を担う 令和の日本型学校教育を推進する学校経営 ～

2 研究主題設定の趣旨

今日、人工知能 (AI)、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言える程劇的に変わる状況が生じつつある。このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。そこで、上記研究主題を設定した。

3 研究内容

(1) 中学校部会 研究課題「多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成」

- ・実践研究：「新たな学校文化を形成し、教職員の意識改革を推し進める校長の在り方」についての研究と、令和5年度に開催される全日中・九州大会の第7分科会における提言発表の準備

4 研究推進計画

第18期研究主題の解明にあたり2カ年継続研究の2年目として、以下により研究を推進する。

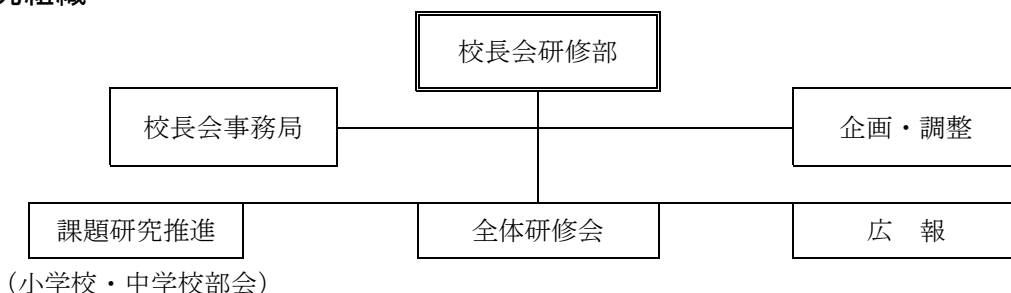
(1) 研究推進の基本

研修部研究を小中別の課題研究として、研究を推進する。小中別研究は渡島管内の小学校と中学校でそれぞれの研究課題を設定し、研究内容を喫緊の研究課題としてふさわしいかという観点から1年ごとに見直していく。会員全員が小中の研究課題を自らの課題としてとらえ、実践研究を行う。また、渡島研究大会や全体研修会において研修部研究についての研究協議を行い、意見集約を行う。

(2) 令和5年度の計画

- | | |
|----------|---------------------------------|
| ① 4月 | 研究推進計画の検討・確認 (校長会総会) 及び研修部研究の推進 |
| ② 5月～7月 | ブロック研究推進の検討・確認及び各会員の実践研究推進とまとめ |
| ③ 9月～10月 | 道小・中、全連小・全日中研究大会への参加と提言準備 |
| ④ 11月 | ウェブ上にての全体研修会の開催 |
| ⑤ 12月 | 研究の反省とまとめ |
| ⑥ 2月 | 研究紀要の発刊および次年度研究計画の作成・確認 |

5 研究組織



1 研究主題

(令和6～7年) 2カ年継続研究(1年次)

「未来を切り拓き 豊かな社会を創り出す日本人を育成する渡島小中学校教育」

～ 令和の日本型学校教育を充実させ、変化に対応できる持続可能な学校経営 ～

2 研究主題設定の趣旨

今、世界は前例のない変化に直面しており、未来は不確実で予測困難な状況にある。こうした時代を生きていかなければならない子どもたちには、社会の変化に主体的に関わり、感性を豊かに働かせながら、自分なりに試行錯誤したり、他者と協働したりして、新しい価値を生み出し、よりよい持続可能な社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要である。

このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。そこで、上記研究主題を設定した。

3 研究内容

(1) 中学校部会 研究課題

「多様化した学校教育課題に対応できる教員の育成と働き方改革の推進」

- ・実践研究：「勤務時間を意識した働き方改革を推進する学校運営体制の充実と校長の在り方」についての研究

4 研究推進計画

第19期研究主題の解明にあたり2カ年継続の1年目とし、以下により研究を推進する。

(1) 研究推進の基本

研修部研究の中学校部会として、研究を推進する。会員全員が、研究主題を自らの課題としてとらえ、実践研究を行う。また、渡島小中学校長会研究大会において研修部研究について研究協議を行い、意見集約をし、研究紀要にまとめる。

(2) 令和6年度の計画

- | | |
|----------|-------------------------------|
| ① 4月 | 研究推進計画の検討・確認(校長会総会)及び研修部研究の推進 |
| ② 5月～7月 | 研究大会の準備と実践研究推進、研究大会の開催 |
| ③ 9月～10月 | 道小・中、全連小・全日中研究大会への参加と提言準備 |
| ④ 11月 | 研究大会の反省 |
| ⑤ 12月 | 年間研究の反省とまとめ |
| ⑥ 2月 | 研究紀要の発刊および次年度研究計画の作成・確認 |

5 研究組織

